

福島県ふるさと・きずな維持・再生支援事業

Pre2020「ふくしまみなと未来塾」

君たちへ 未来の産業を学ぼう

事業実施計画書



昨年度の再生可能エネルギー体験ワークショップ



特定非営利活動法人 Social Net Project MOVE

東京都港区南青山 1-26-16-501

Tel03-5474-7558 Fax03-5474-1461

e-mail for01@themis.ocn.ne.jp

URL <http://www.smartcitymove.com/>

Facebook <http://facebook.com/socialnetprojectmove/>

【1】事業の目的

1. 震災・原子力災害を契機に、福島県及び福島県民が取り組んできた地域再生・新生への挑戦

の姿を、港区を中心とした首都圏住民が学び、共有する中で、地方と都市の新たな交流、連携を創造する。

2. これを次世代へつなぐために、福島県、港区に共通する新エネルギー事業の取組や福島県の地域文化を楽しく学び合う、次世代交流育成事業として実施する。

3. TOKYO2020の年、港区を拠点として、これらを世界に都市と地方の新しい連携モデル、FUKUSIMA MODEL MINATOKU MODELとして発信する。そのプレイベントとして本事業を行う。

【2】事業概要

○事業名 「君たちへ 未来の産業を学ぼう」交流学習バスツアー

1. 港区及び首都圏の児童生徒と保護者参加の交流学習バスツアーを実施する。

2. 実施日:2019年8月4日 午前7時新橋駅 SL 前集合 午後7時30分着

3. ツアー募集人数:45名

対象:港区立小中学校児童・生徒・保護者及び首都圏の児童・生徒・保護者

4. 福島県内参加者数:45名

①いわき市内環境企業関係者

②平窪伝統芸能保存会児童・生徒・保護者・地域指導者

③いわき市薄磯区地域関係者・いわき市立豊間小学校児童・生徒・保護者

④福島県漁協女性部連絡協議会・海まちとよま市民会議

⑤海の家鈴亀スタッフ

5. バスツアー参加費:大人1名¥5,000- 小中高校生は無料

6. 実施内容

①港区と提携を結ぶいわき市と港区及び首都圏参加の児童生徒及び保護者で、伝統芸能の体験学習会を行う。

②福島県漁協女性部連絡協議会の協力で、浜通りの伝統的な家庭料理を試食体験する。

③いわき商工会議所の協力により、再生可能エネルギーの活用や環境保全に欠かせない産業を水素自動車 MIRAI を通して、港区、いわき市の児童生徒及び保護者が共に学ぶ。

④海遊びを体験し、海岸清掃を行う。

※雨天の場合は、いわき市立豊間小学校体育館にて体験学習を行う。

【3】行程予定

8月4日 午前7時 新橋駅 SL 広場集合 点呼の午前7時15分出発

MOVE アテンド担当:藤野清孝・大熊佐代子

当日連絡:藤野携帯電話 090-1087-5581

時間	内容	備考
7:00	集合・点呼	
7:15	新橋駅前発 途中休憩2回	
11:00	いわき市 豊間集会所着	
	水素自動車を学ぼう 体験ワークショップ	いわき商工会議所手配 海まちとよま市民会議・豊間 区設営協力
12:00	平窪子どもじゃんがら念仏踊り鑑賞と 子ども体験交流	下平窪伝統芸能保存会
12:30	みんなで試食交流会	県漁協女性連絡協議会
13:30	薄磯海岸移動	
	水鉄砲ガッセン・海水浴・スイカ割り	協力 海の家鈴亀
14:30	海岸清掃	協力 室谷氏
15:00	出発準備	
15:30	薄磯発 途中休憩2回	
19:30	新橋駅前 着 解散	

【4】収支予算書

A 収入の部

福島県ふるさと・きずな維持再生支援事業補助金	1,742,200
バスツアー参加費(大人18名)	120,000
合計	1,862,200

B 支出の部

実施企画調整費	216,000
バス運行費使用料	354,000
募集告知印刷費	261,000
印刷原稿制作・管理	162,000
WEB 宣伝制作	108,000
広告宣伝	130,000
企業協力謝金	50,000
試食会調理謝金	65,100
試食会食材費	45,000
会場使用料薄磯集会所	3,000
施設使用料海の家	30,000
レンタル費	87,500
謝金2団体	60,000
アテンドボランティア謝金	18,600
記録写真撮影委託	30,000
調整旅費交通費	62,000
保険料	50,000
諸費	130,000
合計	1,862,200

C.収支 A-B=0

以上。